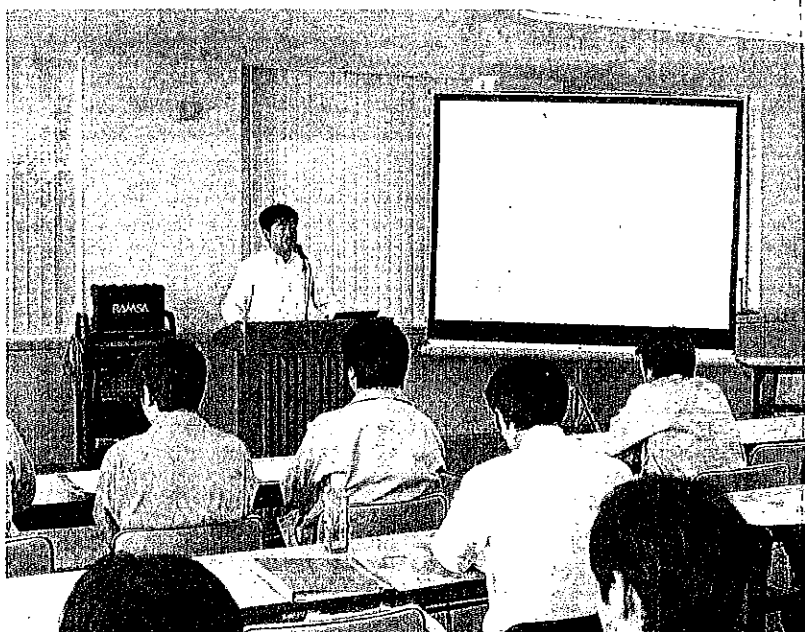


燕商工会議所(燕市)が地域を挙げて取り組む独自の品質管理基準「ツバメ・スタンダード・オーガナイゼーション(TSO)」の初回研修会がこのほど、三条市の燕三条地場産業振興

センターで開かれた。「ツバメ」ブランドの底上げを図る国内初の地域認証制度。地元金属加工会社など35社の約70人が参加し、来年2月の認証取得を目指す。

TSO推進する燕商議所



TSOの認証取得に向けた初回研修会＝三条市

目指せものづくり底上げ

初の研修会35社が参加

TSOは、燕産品の品質の国際規格「ISO9001」を一部簡略化し、製造現場の管理基準に焦点を当て、取得に掛かる時間や費用負担を軽減した。品質マネジメント管

理の国際規格「ISO9001」を一部簡略化し、製造現場の管理基準に焦点を当て、取得に掛かる時間や費用負担を軽減した。品質マネジメント管

理の国際規格「ISO9001」を一部簡略化し、製造現場の管理基準に焦点を当て、取得に掛かる時間や費用負担を軽減した。品質マネジメント管

ミスの大平が口頭伝達により起きていたとし「受変更後は文書で修正し、確認後にサインするだけで防げる」と強調した。今後は、各社独自の管理マニュアル作成を経て審査認証する。認証取得後も3カ月おきに計2回、規定通りに運用されているかチェックする。参加企業は「製品の信頼性アップにつながる」と期待。「業務が煩雑になり、仕事量が増えない心配だ」との戸惑いの声も聞かれた。同部会の長谷川克紀副会長は「会社改革は大変だが、TSOを足掛かりにISO取得の弾みにしたい」と意気込んでいる。